



季節の節目に立って

本町では、お子様が翌年春に入学する各小学校で、「7歳合同祝い」を行っています。その時の挨拶の中で、私は十数年来、「来年の4月に桜の花が咲くころ、皆さんをこの小学校にお迎えします。」と挨拶してきました。しかし、最近では、3月中に桜が咲き終わっている場合があります。以前は3月に雪が降って、雪の中での卒業式も珍しくなかった記憶があります。桜の開花が温暖化でどんどん早まっている感じです。

先月も触れましたが、現在地球温暖化で災害の激甚化が問題となっています。そのため、野木町ではいち早く「ゼロカーボンシティ宣言」をし、脱炭素に向けての政策を進

めています。しかし、地球規模での温暖化は留まらないのが現実です。今年の夏も高温が続けば、生活だけでなく産業や社会情勢にも大きな影響があるかもしれません。

春の芽吹きと花いっぱいのは3月は、生命感が溢れる喜びもいっぱいですが、同時に、夏の予測できない暑さには心配も積もります。しかし、子育てしやすく暮らしやすい町の環境をしっかりと守っていけるようにしたいと思います。町民と行政が共に力を合わせて協働で行っていただければと思っています。あちこちに春の芽吹きを感じる3月だからこそ、新年度4月に向けて改めて感じたところです。

さて、4月から新しい世界に飛び立っていく皆様、様々な困難、激変にもひるむことなく、力強く羽ばたいていてください！

心より応援しています。

真瀬栄八副町長が退任され、 新副町長に遠藤正博氏が就任しました

平成29年4月から7年10か月にわたり、副町長として町の発展のため尽力された真瀬栄八氏が1月31日をもって退任されました。

2月1日に遠藤正博氏が新副町長に就任されました。

【新副町長略歴】

昭和63年に野木町役場に奉職以来37年の間、議会事務局長、総務課長、総合政策部長等の要職を歴任し、総合政策部長を最後に退職。58歳。野木町在住。



真瀬 栄八 前副町長



遠藤 正博 新副町長

小山地区定住自立圏

小山地区定住自立圏とは、野木町・小山市・下野市・結城市が連携・協力して、誰もが住みたい・住み続けたいと思える圏域を目指す構想です。このコーナーでは、イベント情報など、各連携都市の魅力を紹介します。

第46回 天平の花まつり

下野市の天平の丘公園は、国指定史跡の下野国分寺跡・尼寺跡を有し、桜の名所として知られています。園内には日本3大桜の根尾谷淡墨桜・三春滝桜・山高神代桜の子孫樹のほか、しだれ桜や八重桜など、約30品種の桜が次々と咲き乱れます。

花まつりの期間中は、地元商工会加盟店舗の出店やステージショー、子ども向けの坊ちゃん列車が運行し、子どもから大人まで楽しむことができます。

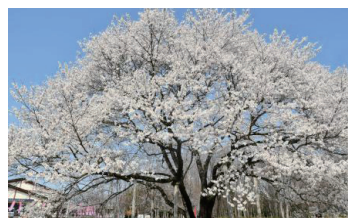
日 3月20日(木・祝)～5月6日(火・祝)

所 天平の丘公園(下野市国分寺993-1)

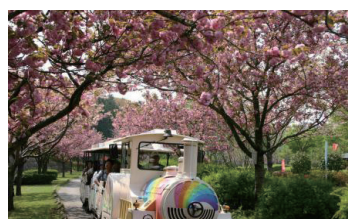
問 (一社)下野市観光協会 ☎0285(39)6900



下野市観光協会
ホームページ



天平の丘公園の淡墨桜



坊ちゃん列車と八重桜

健康タウンのぎ事業が開催されました

12月8日(日)、健康タウンのぎ事業が行われ、約170名の方が参加しました。

健康講演会では鹿野クリニック院長鹿野耕太先生により、「サウナと水風呂で自律神経を整えよう」の演題で、健康増進のためサウナを活用し、自律神経を整える方法について学びました。

また、新館ではフレイル・認知症予防のための音楽療法、武道館では運動教室、保健センターでは子どものフッ素歯面塗布や口腔がん検診を行い、多くの方に健康に関する意識の向上と啓発を推進することができました。



問健康福祉課 ☎(57)4171

治水事業促進の要望

12月4日(水)、国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所に おきまして、野木町内の治水対策強化に関する要望活動を実施しました。

そして、12月9日(月)には、国土交通省へ赴き、より一層の治水対策の推進を求め、要望書を提出しました。要望書では、思川左岸の松原大橋上流における堤防の築堤、同橋下流の無堤地区における詳細な状況調査、河川敷内の樹木伐採・抜根の実施、および河道掘削の実施などを要望しました。



高橋国土交通副大臣

問都市整備課 ☎(57)4155

野木町観光大使 藤田 雄大 選手 表敬訪問

2024熱気球ホンダグランプリで野木町観光大使の藤田雄大さんが所属している「やずやバルーンチーム」が総合優勝を果たし、大会の8連覇を達成しました。この大会は全国を舞台に4戦行われ、渡良瀬遊水地で最終戦が行われました。12月25日(水)に表敬訪問に訪れ、大会の結果などを報告されました。前人未踏の8連覇おめでとうございます。引き続きのご活躍を心よりお祈りいたします。



問産業振興課 ☎(57)4153

投稿 全小中学校でオーガニック給食が実現

11月18日(月)、町内全ての小中学校に野木町で育った無農薬・無化学肥料の冬瓜を利用したオーガニック給食をお届けできました。子ども達からも「おいしかったよ♪」と好評をいただきました！これからは子ども達の心と体、地球環境負荷の軽減、生物多様性等に寄与できる様に活動してまいります。



冬瓜(とうがん)と挽肉のスープ

のぎオーガニックテーブル

のぎ子通信

赤羽 みちえ

